



# 絆プロジェクトⅡ

～ 日常実践の充実を目指した教育活動へのチャレンジ ～

学習環境

教育課程

体力向上

外国語

キャリア

平成 29 年 10 月 3 日発行  
No.11 文責 小林

キャリア

## 命の源は健康な土!



9月22日(金), 農業出前授業として、ごぼう農家の和田さんが5年生を対象に講義をしてくださいました。

5年生は、総合的な学習の時間に「産業」をテーマに学習しています。十勝の基幹産業である農業に従事されている方々のお話は、地域を知る上で大変重要な情報であり、地域社会の一員として貢献できる大人へと成長していく子どもたちにとって、必要な知識です。

和田さんは、「安心して安全な野菜を消費者に届けたい!」という熱い思いをもってごぼうを作っておられます。人の命を繋ぐ食べ物(野菜)を作るのは土であり、その土を作るのは微生物である。だから、微生物が健康であるように、よい栄養を与えなければならない

と、こだわりをもって土作りをされているのです。その努力が、メロン並みの糖度15%という幻のごぼうを育て、「うちの土は食べても害はない。」と、自信をもって断言できる根拠となっているのです。

自分の仕事にこれだけの責任と誇りをもって働いている大人は、子どもたちにとっては大変眩しく、カッコいい存在だと思います。働くということの厳しさと苦勞という現実を教えてくださいながらも、それを上回る魅力ややり甲斐を感じさせて下さった和田さんに感謝です。

私は、これからの自分に必要な言葉をいただき元気が出ました。和田さんが、「どんなことにも目標をもつことが大事。目標をもてば、努力してがんばることができる。」とおっしゃっていて、実際に前向きに取り組んでいるということが、今の私の心にひびきました。

これから私は「前向きに取り組む。」という言葉をお忘れず、困った時には思い出して頑張っていきたいと思えます。

1組 女子

ほくは、和田さんの話を聞いて初めて知ったことが3つあります。

1つめは、農家の役割です。体に良く、美味しいものを作ることが大切だと初めて知りました。

2つめは、和田さんの熱意です。美味しいものを食べてもらうために、日々努力をしているそうです。ほくは、このことを聞いて、働いている人は、みんなのために働いているということを知りました。

3つめは、挑戦を続けていることです。いろいろなことに挑戦した方が良いということを知ることができました。

2組 男子

土がふかふかになるように微生物を育てたり、ごぼうを1本ずつ大切にしたりしている話を聞いて、和田さんのごぼうへの気持ち、みんなに美味しいごぼうを食べて欲しいという気持ちがすごく伝わりました。

一番心に響いた言葉は「自分の目標を決めて一生懸命頑張る。」ということです。一度やると決めた事なのに、すぐにあきらめてしまう私には、とても心に響きました。

3組 女子